



逆境の不動産時代を生き抜くためのお役立ち情報便

レントライフ便り

レントライフ便りは、安定した賃貸経営を共に築いていくために、市場の動向・入居者のニーズ、レントライフの取組などを発信し、今なにか必要なかを一緒に考えていける場にできればと思っております。皆様からの率直なご意見ご感想を心よりお待ちしております。

レントライフの『賃貸オーナーサポート専門サイト』 www.rentlife.co.jp/owner

編集発行



株式会社 **レントライフ**

本社 マーケティング課

レントライフ オーナー



《レントライフ便り専用アンケート》

レントライフ便り専用お問合せフォームからオーナー様のご意見をたくさんお待ちしております。

rentlife.co.jp/inquiry/rentnews

vol.88 専用お問合せフォーム



今回のお題目

《特集》人口減少社会日本では今後、賃貸需要は確実に減少してゆく！ **新しい技術《IoT》の導入で物件力を高め賃貸需要を創造する**

- IoT導入賃貸マンション導入実例をご紹介 IoT×リフォームで画期的な入居促進を実現!
- 日本開国！インバウンド需要が増加！しかし円安で庶民には大打撃
- オーナーセミナー開催のお知らせ 賃貸需要の未来を大胆予測！ 2人のプロが徹底解説！新・空室対策セミナー

昨年、総務省は2020年国勢調査の確定値を公表しました。それにより、外国人を含む日本の総人口は20年10月1日時点で1億2614万6000人となり、15年の前回調査から94万9000人ほど減り、2回連続で少なくなりました。また、経済活動の主な担い手となる、即ち賃貸市場のターゲットでもある生産年齢人口(15~64歳)は3%減の7508万8000人と、この5年でおよそ226万6000人減少しました。14歳以下の子ども人口は6%減の1503万2000人でした。一方で65歳以上人口は7%増の3602万7000人と、正に少子高齢化の傾向が鮮明になり、賃貸需要の減退も待たないに訪

2020年国勢調査で需要減少が明確に。
総人口1億2614万人に、5年で94万人減少

新しい技術《IoT》の導入で
物件力を高め賃貸需要を創造する

人口減少社会日本では今後、
賃貸需要は確実に減少してゆく！

人口減少 社会...



また、世帯数は一人暮らしが増えたことで5583万世帯と過去最高を更新しましたが、内単独世帯は2115万1000世帯と、なんと全体のおよそ4割(38%)をも占めていました。さらに65歳以上が1人で暮らす単身高齢者の割合(高齢独居率)

ご用命・ご相談は、お気軽に各店にご連絡ください。

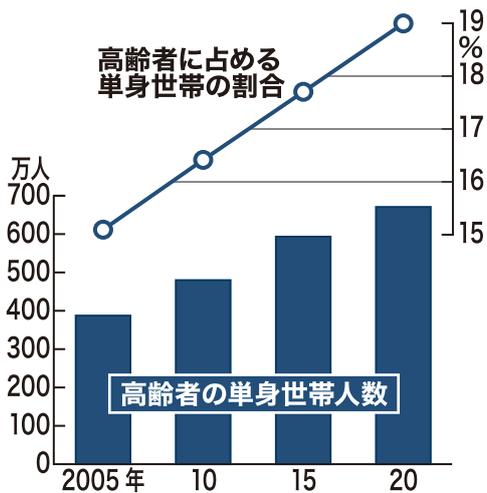
- 長野店 長野県長野市栗田 2007 TEL.026-219-5580
- 伊那店 長野県伊那市中央 4561-7 TEL.0265-77-2580
- 松本店 長野県松本市島立 940-1 TEL.0263-40-5001
- 飯田店・飯田ショールーム 長野県飯田市北方 1157-2 TEL.0265-25-8050
- 諏訪店 長野県茅野市ちの 2767-2 TEL.0266-82-5101
- 横浜支店 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-10 TEL.045-470-3213

[本社] 長野県長野市栗田 2007 レ・コンフォर्टィ長野駅東 3F TEL.026-217-0257

は5年前の前回調査に比べ13.3%増の671万人に占める単身世帯の割合も、1980年の8.3%から一貫して上昇し、2020年は全国平均で19.0%となり、5人に1人がおひとりさまで暮らす事態となっています。このことから今後、増々高齢世帯の孤独死などが大きな社会問題となることは間違いありません。

現在、又将来において増々このような人口構成となつてゆく日本社会においては、賃貸需要のあり方も様変わりしていかざるを得ません。賃貸需要の主流は単身世帯となり、女性の一人暮らしや独居高齢者の増加、また一人暮らしでもペットと同居する人など、単身者の賃貸需要に対して、より暮らしやすいサービスが求められていくのです。嘗ての貸し手市場時のような「単身の高齢者やペット同居の同居者はお断り」などと言っているのは、これからの賃貸市場では生き残つていきません。多彩なサービスの提供で安定した賃貸経営を目指していきましょう。

単身高齢者は 671 万人に増えた



出典：総務省調査 2020年国勢調査より

新しい空室対策！賃貸住宅へのIoT技術の活用で差別化を図る。

賃貸住宅にも情報通信技術（ICT）の波が

近年、IoTという言葉が、世の中でも広く聞かれるようになってきました。そして、IoT技術は不動産業界でも注目され始め、様々なシーンや目的で活用が始まっています。どのような技術が、どのように活用されているのでしょうか。改めてこういった技術なのか、言葉の意味や仕組みについてご案内していきます。

IoTって何？

「IoT」と言われても、まだあまり耳慣れない人が多いと思いますが、最近よく使われるようになってきました。しかし、IoTの読み方や、「IoTって何？」とIoTの意味をまだご存知でない方も多いと思います。IoTとは英語で「Internet of Things」の頭文字



が可能になりました。そして、さらに社会のデジタル化が進んだ現在、家電や自動車といった「モノ」をイ

IoTの具体的な導入例、どんな使い方があるの？

現在、エアコンや冷蔵庫といった家電製品や、自動車・バス、工場の装置・設備など、さまざまなモノにIoT技術が活用されはじめています。IoTの対象となるモノには、センサーやカメラ、無線通信が搭載されており、モノの状態や動きを感知したり、データを取得したりします。このように、取得した情報をインターネットにより人やモノに伝送することがIoTの基本的な仕組みです。IoTの活用事例を具体的に説明すると次のような事柄になります。

IoTの活用によって実現できることはモノを離れた場所から操作したり、モノの状態を知るといったのが代表的な使い方

ンターネットに接続する技術が注目を集めています。それが「IoT」です。

なります。

IoT活用の代表格といえるのが、離れた場所にあるモノを遠隔操作する機能です。たとえば、外出先からスマホなどのデバイスを通じて、自宅にあるエアコンや照明などの家電を操作し、ドアやシャッターの開閉を行なうことができます。また、IoT

家電を遠隔で操作出来る！





化されたペット用フードサーバーは遠隔地からスマホでペットの様子を確認し、適切な量の食事を自動的に給餌することができ、さらに、電源のON/OFFといった単純な動作だけでなく、エアコンの温度・風量の強弱など細かい設定まで調整ができます。「モノ」を操作する「機能は、生活を便利に楽にするための用途で活用されます。

次に、離れた場所にあるモノや人の状態を知る機能もIoTを語るうえで欠かすことのできない要素の一つです。たとえば、照明の状態を外先で確認できるため、消し忘れを防いで電力費用の削減が可能となります。ほかに、エアコンの温度を遠隔地から管理して室内環境を最適な状態にキープできます。また、ペットの首輪をIoT化して運動量や食事量のデータを取得することで、ペットの健康状態を遠隔地から確認できます。体調の異変にいち早く気づくことができ、獣医への迅速な相談が可能になるなど大きな病の防止につながります。

IoTを賃貸住宅に取入れ空室対策

IoTを導入することで、空室対策になる点が大きなメリットとなります。IoT賃貸住宅は、現段階では希少性があり、住んでみたいと思う入居希望者のニーズは確実に捉えることができます。従って、導入によって大きな差別化となり入居者に選ばれる物件に様変わりし、結果、空室対策となるのです。あるアパートメーカーの調査では、「IoT化された賃貸住宅に住んでみたいか」を尋

ねたところ、『ぜひ住んでみたい(17.3%)』、『住んでみたい(29.5%)』と、約半数が『住んでみたい』という回答でした。また、入居者は、居住の安全性や快適性・利便性が向上すると入居期間が長くなる傾向があります。賃貸アパート向けでも、IoT機器による便利で安心・安全、快適な暮らしを提供することにより、入居を促し、入居者の定着率を上げることが期待できます。

IoT導入で新たな賃貸需要を創る!

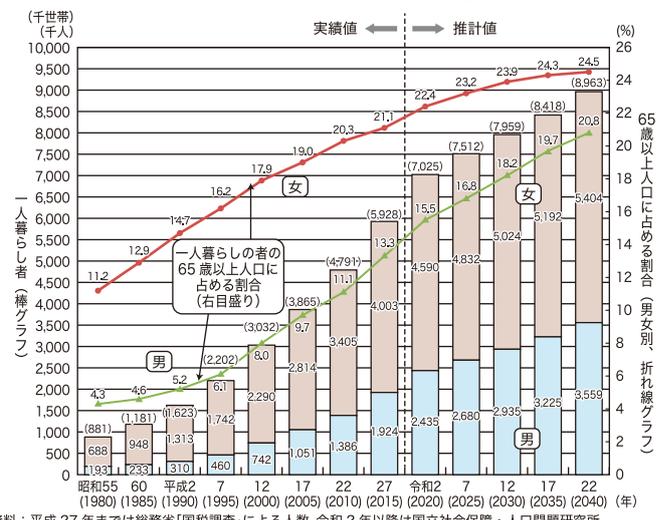
■高齢化社会では賃貸住宅にも独居老人が増えていく!

IoTの「高齢者見守りサービス」で孤独死を防止し、高齢者でも安心の一人暮らしを提供

前段でもご案内した通り、将来に向けて65歳以上の一人暮らしの男女は増加傾向にあります。単身高齢者が増加する要

因は、配偶者が死亡したために一人暮らしになったり、子供がいなかったり少なかったりすること、また核家族が進んでいることが原因です。さらに、高齢者の意識として労働年齢が高くなっていることから経済的な

65歳以上の一人暮らし者の動向



資料：平成27年までは総務省「国勢調査」による人数、令和2年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(全国推計)2018年(平成30年推計)」による世帯数
 (注1)「一人暮らし」とは、上記調査・推計における「単身世帯」又は「一般世帯(1人)」のことを指す。
 (注2)棒グラフ上の()内は65歳以上の一人暮らしの男女計 (注3)四捨五入のため合計は必ずしも一致しない。

心配がなく、生きがいを感じているので一人暮らしでも不自由を感じていないこと、今住んでいる所が気に入っているのので子供から一緒に住むことを提案されてもあえて一人暮らしを続けている場合もあります。なにより、気楽で良いからと一人暮らしを選択しているといったことも挙げられます。

このように、超高齢化社会へと突き進んでいる日本、今後は賃貸住宅での一人暮らし高齢者の増加によるリスクが社会問題化していくことが予想されます。もう既に、高齢者だけの世帯や、高齢者の一人暮らしは、増加の一途をたどっています。それに連れて、離れて暮らす親のことを気に掛ける子世代が増々多くなっていくでしょう。

■高齢者賃貸の需要取り込み。一人暮らしのリスクを減らす対策

高齢者が一人暮らしをする上でのリスクは、認知症や介護度が進んでい

たとしても、本人に自覚がないため病気の進行に気付かないことがあり、結果、一人暮らしであれば孤独死は避けられないことになってしまいま

す。万が一亡くなっても誰にも気づかれないことや、助けを求めたくても声が届くところに人がいないという事態が想定されます。また、身近に相談できる人がいないために、振り込め詐欺などの犯罪に巻き込まれやすくなるリスクもあります。

ビスなども提供されます。このように、IoT技術を利用することにより、離れた場所からでも安否を確認することができるようになります。

一例として、魔法瓶や電気ポットで有名な象印マホービン株式会社も、IoTを活用することで新たな商品価値を生み出すことに成功した企業の1つです。具体的には、電気ポットの使用状況を離れて暮らす家族に知らせ、安否確認ができます。離れて暮らす高齢の親が象印マホービンの電



気ポットを使えば、電気ポットには無線通信機が搭載されていますので、電気ポットの使用状況が家族の端末に送信されます。電気ポットの使用状況を1日2回チェックでき、1週間分のグラフも確認でき、電気ポットの使用状況から親の生活リズムを把握することができるとい

う仕組みです。これにより、変化が現れた場合などに素早く安否確認できると言う訳です。その他、LED電球のON/OFFで使用状況を通信で知らせてくれるIoT電球。インター

ネット環境があれば部屋に置くだけで使えるIoT見守りセンサーでは、トイレにセンサーを付ければ、長時間使用が確認できない場合、何らかの事態があったと認識することができま

す。また、室内の温度や湿度、明るさなどと、見守られる人の動きを検知するシ



留守中でも侵入の状況を把握

ステムで見守る側は、利用のセンサーに応じた現在の状態をスマホアプリで確認することができます。例えばカメラが一番確実に状況を確認することができま

すが、いくら高齢者が暮らしていますから、中には不審者がいるかもしれない。また外から見知らぬ人が侵入してくる可能性もあります。最近アパートでの事件もよく耳にするようになりま

したから、一人暮らしの女性にとつては賃貸生活に不安を感じる人も多いと思います。IoTはそ



ペットも飼い主さんも安心

でも、常に部屋の状況をカメラで見られるのは好まないでしょうから、プライバシーを保ちながら安否を確認するには、以上のような方法になると

思います。 ■一人暮らしの女性や単身者のペット同居、子育てファミリーにも安心のIoT設備 賃貸住宅には大勢の人が暮らしていますから、中には不審者がいるかもしれない。また外から見知らぬ人が侵入してくる可能性もあります。最近アパートでの事件もよく耳にするようになりま

したから、一人暮らしの女性にとつては賃貸生活に不安を感じる人も多いと思います。IoTはそんな不安から守ってくれる安心な設備もあります。ドアや窓に設置する開閉センサーで不審な開閉を検知してスマートフォンに通知し、アプリで確認できますので外出時も安心。一人暮らしの女性にも安心の設備です。そして、賃貸住宅で最近需要が多いのが単身者

のペット同居です。一人暮らしのパートナーとしてペット同居を希望している入居者は男性・女性を問わず意外に多くなりました。寂しい一人暮らしでペットの癒し効果を求めるのは無理もないことです。しかし、一人暮らしですから、仕事にかけている間、ペットは独りぼっちです。

また、小さなお子さん

のいる子育てファミリーやシングルマザーの入居者にとつては、外出中に仕方なく部屋に残してきた子供のことや、学校から帰宅してお留守番をしている子供が気がかりになります。

このような事態でもIoT設備は大活躍します。360度回転するカメラでどんな場所からでも部屋の様子が確認できます。外出先からスマホで子供やペットを安心して見守れると言う訳です。

■スマホで玄関の鍵を簡単ロック解除！
室内を快適温度に、などスマートな暮らしを提供

IoTが導入されている賃貸住宅は最先端の設備でスマートな暮らしを提供することができま
す。お部屋の玄関のカギはスマホで簡単にロックや解除ができ、さらに外出先からも鍵の閉め忘れがあれば即座にロックができます。また、外出先からお部屋の室温をチェックしてエアコンを操作できますので、帰宅時にはお部屋が快適な温度になっていて、真夏の暑さも真冬の寒さも気にならない豊かな生活を演出できます。

このように、まるで昔



導入費用は、思ったより安い！

IoTは最新の機器や設備なので、賃貸住宅へ導入するには、費用が高額でハードルが高いのでは？と考えるオーナー様もいらっしゃるのではな
いでしょうか。しかし、

IoT機器・設備の中には、設置が簡単で金額もリーズナブルな比較的導入しやすい種類も存在しています。
しかし、そもそもIoTはインターネット

を通じて、様々な便利機能を楽しむことができるシステムですから、当然のことですが入居者が使える無料のインターネット回線の設置は、必ず必要になります。

機器の設置費用については、導入する設備の数により費用が変わってきますが、例えば単身用の賃貸住宅に導入するシステムとして、スマートロックでアプリにより（遠隔でも可能）操作できるカギの施錠・解錠、さらに入居希望者のセルフによる内見時の鍵の受渡しをせずに内見を実施できるワンタイムパスワードの発行や、スマホでのエアコンなど家電・照明の操作、それに留守中の窓の開閉を通知するセキュリティ機器などを導入しても5万円くらいで設置できます。これに加えてファミリー向けの賃貸住宅では、人感センサーによる照明の自動ON、温度・湿度での自

動空調制御、お湯はりに便利なアプリでの給湯操作、カメラによる子供やペットの見守りなど、これらすべてを導入しても、およそ20万円の初期投資で済みます。

また、高齢者の見守り機能については、日常の行動に変わった動きがな
いか確認する、人の動きを感知するセンサーやいざという時に室内の様子を見たり、音声を聞き取るライブカメラなど、さ

らに認知症での徘徊を防ぐため、ドアや窓の開閉を検知し通知するドア窓センサーなど多種の機器
が取り付け可能で、機器の選択も可能ですから、費用も比較的安く抑える
ことができます。

お持ちの物件の空室対策をお考えのオーナー様は、ぜひIoTを活用して新しい需要を創造し、満室経営を目指していき
ませんか？ご興味のある方は、私共レントライフ

賃貸オーナー様必見 IoT×賃貸のご案内

人口減少社会、日本の賃貸需要は確実に減少する！
IoT導入で新しい需要を創る！

低コストで入居率が上がる！

新しい賃貸需要を先取りする
究極の満室経営サポート

自動運転&スマホで操作

防犯対策

鍵の締め忘れ

「長く住みたくなる」お部屋になるから、空室対策にバッチリ！

スマートロック

ペットの見守り

高齢者の見守り

最悪で対策をご説明 →

▲『賃貸住宅へのIoT導入をおすすめする』オーナー様向けチラシ

低コストで導入可能！



のお店へお気軽にご相談下さい。

IoT 賃貸マンション
導入実例をご紹介

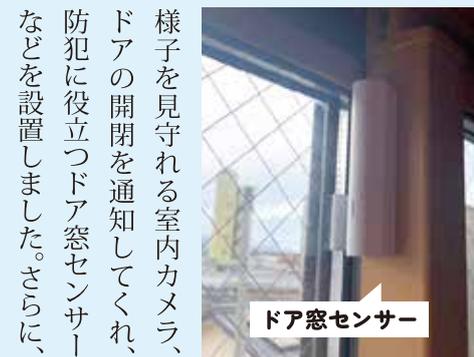
IoT × リフォームで画期的な入居促進を実現!



スポットミニ

室内カメラ

それでは、実際に賃貸マンションにIoTを導入した事例をご紹介します。今回導入した物件は、鉄筋コンクリートのマンションです。スーパーやコンビニ近くで立地はさほど問題はありませんが、少し市街地から離れているからか、空室が目立っていました。そこで、オーナー様へ「IoTの導入」をご提案しました。レントライフとしても、当該エリアでは初めてのご提案であるため、オーナー様も若干不安なご様子でしたが、設備の導入のしやすさと、利便性の良さなどのプラスの要素が多い事に反してさほど費用がかからないこと、さら



ドア窓センサー



ロックプロ

に、これから必ず需要が高まっていくであろうIoTを先取ること、エリア唯一の物件力の高いお部屋になることをご説明させていただき、導入に踏み切ってくださいました。
導入した設備は、左図の通りです。カギを取り出さずにスマホで解錠できるロックプロ、室内の温度湿度照度が分かる環境センサー、ペットの

— このお部屋に設置されている IoT 機器一覧 —



高齢者の方は、オプションでモーションセンサーを設置できます。一人暮らしの高齢者の方を、離れて暮らす家族が見守れるので安心です。
また、もう一つ大事なポイントが、お部屋や物件自体が高齢者の方は、オプションでモーションセンサーを設置できます。一人暮らしの高齢者の方を、離れて暮らす家族が見守れるので安心です。

IoTに見合った状態になっているかが重要です。いくら室内に最新の機器を導入しても、ポロポロのアパートでは入居する気にはなれません。
当該物件は、きちんと管理されており内外観共に綺麗ではありましたが、築21年が経っており、室内設備がひと昔前のものでした。そこで、システムキッチンへ変更、リビングのアクセントクロス、浴室のアクセントパネル設置など、見た目と使いやすさを重視してプチリフォームを行いました。より暮らしやすくなったお部屋にIoTの便利さが加わって人気のお部屋になることは間違いありません。募集

はありましたが、築21年が経っており、室内設備がひと昔前のものでした。そこで、システムキッチンへ変更、リビングのアクセントクロス、浴室のアクセントパネル設置など、見た目と使いやすさを重視してプチリフォームを行いました。より暮らしやすくなったお部屋にIoTの便利さが加わって人気のお部屋になることは間違いありません。募集



を開始したばかりですが、すでにお問い合わせを何件も頂いています。IoT × 賃貸での新しい入居促進にご興味がありましたら、ぜひお問合せください。

日本開国！インバウンド需要が増加！ 進む円安に歯止めはかかるのか？



日本政府は2022年10月11日に個人観光旅行の再開など水際措置の緩和を実施しました。概要は、海外からの訪日者に対して、原則入国時にコロナウイルスの検査を行わず、入国後の自宅又は宿泊施設での待機、待機期間中のフォロワーアップ、公共交通機関不使用等を求めないこととしました。これを受けて、訪日外国人(インバウンド)の需要が急速に高まってきています。地域別では、訪日客数の多い順に、韓国が3万

27000人、ベトナムが3万9000人、米国が1万8000人、中国が1万7600人、インドネシアが9200人となっています。このように海外からの観光需要の回復の兆しがみえてきました。日本政府観光局(JNTO)や大手航空会社などでは、この動きを受けて訪日プロモーションを本格化させています。日本政府観光局では、10月～2023年3月にかけて、合計25市場からメディア、旅行会社、インフルエンサーを招請し、水際対策緩和後のリアルな日本を紹介し、各地での訪日ツアーの増加につなげたい考えです。

最近よく聞くようになった、オンラインホテル予約サイト運営のアゴダでは、9月下旬に岸田文雄首相が水際対策の緩和を発表した後の2週間あまりで、日本を目的地とした検索数が通常時の16.5倍に跳ね上がりました。アゴダ・インターナショナル・ジャパンの大尾嘉宏人代表取締役によると、「予約も同様の傾向で増えており、「日本にきたい人たちが待ち望んでいた。円安の影響もある」とのことです。テンプル大学ジャパンキャンパスでは、入国規制緩和で海外からの学生数が増加し、8月末に開始した秋学期において、学部課程の在籍学生数が初めて1800人を超えています。

田首相は訪日外国人のインバウンド消費を5兆円超に増やしたい意向を掲げ、円安が進む中で、このインバウンドが円安の歯止めになるのではとの声も上がっています。

宿やにも初めての外国人宿泊客が！

日本国内が騒がしく動きだした中、とてもうれしい報告が届きました。レントライフで8月に松本でオープンした宿「一棟貸し宿や松本本庄」に外国人観光客の方が宿泊されました。宿やオープンから2ヶ月経ち、初の外国人利用者様で、記念すべきお客様となりました。これから季節的にもスキーなどウインタースポーツ目的で長野県にもますます外国人のお客様が増えていくことで、インバウンド需要で、民泊やホテル、ウィークリーマンションの利用もさらに増えていくことを期待しています。

「レントライフが、宿を」はじめました。

最大定員 8名 (未就学児含む)

駐車場 2台付

平日がお得

全国旅行支援 **信州割** SPECIAL 対象

2022年12月20日まで

宿や松本本庄は、松本の中心街に佇む貸し切りの宿です。ご家族や友人との旅行など、様々なシーンでご利用ください。

一棟貸し **宿や松本本庄**

一棟すべて貸し切りの宿

【ご予約は、公式サイト SAlnn Hotels からがお得です】

1F 広々リビング、2F カウンターキッチン、乾燥機付洗濯機など設備も充実、暮らすようにお過ごしいただけます。

※料金は変動します。サイトで最新の金額をご確認の上ご予約下さい

お読みいただきありがとうございます。
レントライフ便りのバックナンバーも、
こちらから無料でご請求いただけます。

レントライフ便りを請求する [→](#)



《賃貸オーナーセミナー開催のお知らせ》

賃貸需要の未来を大胆予測！

新・空室対策セミナー開催

え！こんな空室対策があったのか！

人口減少・超高齢化社会で賃貸需要は確実に減少
どう対策しますか？

最近2025年問題という言葉を聞きに慣れたことはありませんか？

日本の人口の年齢別比率が劇的に変化して「超高齢化社会」となり、社会構造や体制が大きな分岐点を迎え、雇用、医療、福祉など、さまざまな分野に影響を与えることが予想され



人口構造の激変！ 超高齢化社会へ突入

る問題を指しています。今までさんざん言われてきた少子高齢化社会から、超高齢化社会へと確実に進行していくことになりま

この問題は、もちろん賃貸業界にも大きな影響を及ぼします。賃貸のメインターゲットである20代30代の若者が減っていくことで、賃貸需要が減少し、逆に高齢者が増え、賃貸物件への独居老人が増えることが予測されます。このように、

賃貸需要が変化していく中、実情を正しく理解した上で、新しい空室対策が必要になってきます。そんな現在の賃貸市場のデータを、プロの目線から時流を読み解

き、さらに新しい賃貸需要を自ら創っていく空室対策セミナーを開催いたします。今回は、長野県内全5会場で開催いたします。お近くの会場にてご参加いただければ幸いです。

第一講座では、200社以上の賃貸管理会社を支援し、市場を知り尽くしたコンサルタントに、長野県の市場と超高齢化社会の中での集客方法と対策について徹底解説いただきます。

第二講座では、レントライフが導入した、これまで逃していた入居者層を獲得できる、新しい賃貸需要獲得ツールのご紹介と、年間1500件以上のリフォーム実績のあるレントライフが自信を持ってお勧めする「自己資金0円でもできる究極のリフォーム空室対策！預かりくん」を実例と合わせてご案内させていただきます。

どのエリアのオーナー様にもご参加いただけます。



▲10月に長野市で開催されたオーナーセミナーの様子

す。詳細は、下記広告から、WEBサイトのセミナー専用ページをご覧ください。沢山のご参加をお待ちしています。

編集後記

今号は、IoTづくりとなりました。カギをわざわざ出さなくて良いスマートキーや留守中にペットを見守ることができカメラなど、お部屋さがしのお客様の入居促進にとっても効果の高いツールになるかと思えます。今後は、皆知っている人気の設備になる日も遠くないかもしれません。

宮澤

人口減少 超高齢化社会で賃貸需要は確実に減少する！

賃貸需要の未来を 大胆予測

12/11日
13:30-16:30 (受付13:10~)

県内 全5会場にて開催!

長野会場
JA長野県ビル (12階C会議室)
長野県長野市大字南長野北石堂町1177番地3

各エリアのオーナー様もお近くの会場でご参加いただけます

- 松本会場/ホテルエナピスタ (2階 レガロ)
- 諏訪会場/ワークラボハケ岳 (ミーティングルーム2)
- 伊那会場/いなっせ (4階 会議室401)
- 飯田会場 エス・バード (4階 企業懇話室)

お申込締切 12月9日 (金)
※詳しくは店舗にお問い合わせください。
※定員になり次第締め切りとさせていただきます。

受講料 無料

《特別講師》
船井総合研究所 賃貸支援部
マネージング・ディレクター
青木 一将 氏

2人のプロが徹底解説!
新・空室対策セミナー
常識を覆す、新しい賃貸需要を創る

え！こんな空室対策があったのか！



右記QRコードからWEBお申込みが可能です。

お問合せは、WEB レントライフ オーナー 検索 またはお電話で 026-219-5580